

国会闘争速報

2006年12月14日 第39号

発行：全国労組交流センター

東京都台東区元浅草 2-4-10 五宝堂・伊藤ビル5F

TEL 03-3845-7461 FAX 03-3845-7463

kokkaitousou@yahoo.co.jp にアドレスを送ってください。連日、「国会闘争速報」をメールします。



廃案は民の声だ！

改悪教基法 総力で成立阻止へ

本日(14日)午前9時〜12時、参院教基法特別委で安倍首相が出席しての「総括質疑」が行われる。これは通常、委員会採決

勢を強化して、最後の最後まで総力で闘いぬこう。昨日発表された「タウンミーティング」問題の最終調査報告書は、「政府の方針を浸透させるための『世論誘導』ではないかとの疑念を払しょくできない」と書いている。安倍首相も「はじめを付ける」と明言した。

そうであるならば、その「世論誘導」政策を通してつくられた教基法改悪案は、直ちに白紙撤回すべきだ。給与の一部返済で済む問題では絶対がない。今や世論の6割以上が教基法改悪の強行に反対だ。労働者人民の怒りで、改憲・戦争に突き進もうとする安倍政権を倒せ！

国会前は臨戦態勢

“教え子を戦場に送るな”の闘いは今



13日夕、冷たい雨が降りしき中、「今この瞬間に声を上げなければ」と危機感にかられた4000人が国会を取り囲んだ。「ヒューマンチェーン」参加者は思い思いの横断幕やメッセージボードを掲げ、あらゆる限りの声を国会に叩きつけた。

この日は朝から、教育労働者を先頭に1000人を超える人が国会前に座り込んだ。北海道教組も50人、大分県教組も50人で、14日は別の50人が合流するという。他に長野県教組、石川県教組、神奈川県教組なども独自の座り込みを闘っている。

人生かけて闘っている

ハンスト者の元気がいっぱいの闘いが、国会前全体を引っ張っている。この日で18回目のハンストという元教育労働者。連日の闘いで身体を壊し、体調が優れない中でも立ってでもいられずに参加した人など、その必死さが伝わってくる。神戸、京都、滋賀、広島、沖縄などからも多くの人が駆けつけた。全国の人たちの思いと国会前の闘いは確実に結びついている。

「不適格教員排除」叫ぶ 安倍首相こそクビだ!

13日の衆院特別委で、安倍首相は「(教員の中に)不適格であるという方々がいるのも事実。採用する際には資質が十分に分からなかったという例もある」と言い放ち、教基法改悪の次には教員免許更新制を導入する方針を明言した。また、教基法改悪の成立を急ぐ理由について「私が目指す美しい国づくりにおいては、何と言っても教育がすべての基本」と言っている。

ここで安倍が主張しているのは、自民党・中川昭一の「デモ教員はクビ」発言とまったく同じだ。すでに教育再生会議では、免許の更新期間を中教審答申の10年からさらに短縮して5年とし、試用期間も現行の1年を3年に延

長するとしている。戦争反対のデモに参加したり、平和教育や人権教育に熱心な教員をすべて「不適格教員」として排除することが狙いである。

だが教育労働者が団結して闘いぬく



「全ての権力を人民へ！」

メキシコの教員組合の闘い

メキシコ・オアハカ州では労働者、農民、先住民団体がコミュニティを作って事実上、州の権力を握っています。11月の段階でもこのコミュニティは維持され、民衆の自主管理になっています。今年5月、オアハカ州の教員組合「セクシオン22」が賃上げ、学校の施設等の条件整備などをもとめてストライキに入ったのを契機に闘いが拡大し、ついに100万人規模のデモに発展、州の主要な庁舎や放送局などを占拠しています。(写真は、11月25日にコミュニティ破壊に乗り出した軍隊と対決したデモ隊)

限り、安倍がどんなに地団太踏んでも学校を戦争教育一色で塗りつぶすことはできない。「やらせ」の張本人・安倍に教育を語る資格はない。安部に「お前こそクビだ」とつきつけよう。

前 言 の 発

12月13日

●神戸東灘区住民の会・松原さん 戦前、教育の国家統制によって戦争を許してしまったこと、その反省が10条に込められている。この10条をひっくり返し、「子どもたちを戦場に送るな」という闘いをつぶすのがこの教基法改悪の最大の狙いだ。朝鮮総連の人たちへの大がかりな弾圧もこれと一体のもの。教基法10条の解体

を絶対許してはならない。

●ハンスト者・都高教Nさん 定時制の生徒たちはすでに教育が受けられない状況になっている。特に石原になってからだ。さらに100校ある定時制を3年のうちに44校にしようとしている。これは教育基本法改悪の先取りだ。私たちはこれに抵抗してきたが、今、その意味がはつきりしてきた。格差拡大の教基法改悪を絶対に許さない。

●ハンスト者・兵庫Kさん 国会容弁

行動予定

- 国会前座り込み
- ハンスト者、連日の9〜18時
- 東京教組、連日の16〜18時
- 都高教、連日の14〜16時
- 北海道教組、14〜15日の連日
- 全国連絡会、14・15日の9〜17時
- 百万人署名運動、連日の正午〜16時
- 14日(木) 14〜19時、教基法改悪・共謀罪阻止の国会行動(主催:11・5労働者集会実行委) / 18〜19時、国会前集会(主催:全国連絡会)
- 15日(金) 教基法改悪・共謀罪阻止の国会行動(主催:11・5集会実行委)

「改正賛成の人に発言依頼した」

13日の国会審議で、社民党の福島瑞穂議員がタウンミーティングについて「教基法改定に反対する人に発言依頼はしたのか」と質問したところ、政府は「教基法に反対する人ばかりなので、バランスをとって賛成する人に発言依頼した」と答弁した。教基法改悪のために反対の声を抹殺し、世論をねつ造してきた政府のやり方は極悪だ。

その責任者は官房長官だった安倍晋三だ。安倍は直ちに辞任すべきだ。